

糸魚川市観光統計

(令和5年度版)



(令和5年4月28日/糸魚川ー静岡構造線モニュメント除幕式)

糸魚川市産業部商工観光課

令和6年9月

目次

◆ 調査概要	
1 調査の期間	1
2 調査方法	1
3 調査地点	1
I 令和5年度糸魚川市における観光の現状	
1 令和5年度の観光客の入込状況（概況）	2
2 令和5年度の月別・目的別観光入込客数	2
(1) 月別観光入込客数	
(2) 目的別観光入込客数	
3 令和5年度の目的別観光入込客数の前年度比較	4
(1) 温泉	
(2) 自然景観	
(3) 名所・旧跡	
(4) 文化施設	
(5) 産業観光	
(6) 祭・イベント	
(7) 海水浴	
(8) スキー場	
(9) 登山・ハイキング・キャンプ場	
(10) その他（ゴルフ場・釣り・プール等）	
II 令和5年度宿泊客の入込状況	
1 令和5年度の宿泊客の入込状況（概況）	9
2 令和5年度の月別・方面別宿泊者数	9
(1) 月別宿泊客数	
(2) 方面別宿泊施設入込客数	
3 外国人宿泊客数	11
III 過去の入込客統計調査との比較	
1 観光入込客数の推移	12
2 目的別観光入込客数の推移と新潟県入込客数との比較	13
(1) 温泉	
(2) 海水浴	
(3) スキー場	
3 宿泊客数の推移と新潟県宿泊客数との比較	14
4 外国人宿泊客数の推移と新潟県外国人宿泊客数の比較	15
IV 経済効果	
1 観光庁「旅行・観光消費動向調査」における経済効果	16
2 糸魚川ジオパーク観光動態調査における経済効果	17
V 令和5年度に講じた施策	
1 誘客宣伝活動の促進	18
2 受入態勢の充実	20

◆ 調査概要

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」（平成 21 年 12 月観光庁策定）に準拠し、観光入込客数などを推計したものである。

1 調査の期間

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

2 調査方法

(1) 観光入込客統計調査

四半期ごとに、市内の観光地点の管理者、祭行事・イベントの主催者等に対して入込客数を調査し、集計した。

(2) 宿泊客数調査

四半期ごとに、市内の宿泊施設に対して県内から来訪者した宿泊者と県外から来訪した宿泊者を分けて宿泊客数を調査し、集計した。

(3) 海水浴客入込客数調査

海水浴場開設期間中に 10 日ごとに入込客数を調査し、集計した。

3 調査地点

観光入込客調査地点は以下の 116 か所である。

対 象	主な施設名称	対象地点数
温泉	柵口温泉、姫川温泉等	13
自然景観	高浪の池、小滝川ヒスイ峡等	8
名所・旧跡	翡翠園、相馬御風宅、親不知レンガトンネル等	7
文化施設	ジオパル、フォッサマグナミュージアム等	10
産業施設	マリンドリーム能生、ヒスイ王国館等	7
祭・イベント	おまんた祭り、奴奈川祭り等	41
海水浴	能生海水浴場、糸魚川海水浴場、親不知海水浴場等	6
スキー場	シーサイドバレースキー場、シャルマン火打スキー場	2
登山・ハイキング・キャンプ場	雨飾山登山、荒崎キャンプ場等	13
その他	糸魚川カントリークラブ、溪流釣り等	9
合 計		116

I 令和5年度 糸魚川市における観光の現状

1 令和5年度の観光客の入込状況(概況)

- 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着き始め、5月8日から感染症法上の位置付けが5類感染症となり、各地でイベントが再開するなど、観光需要が回復し、新型コロナウイルス感染症拡大前（令和元年度）の約88%まで回復した。

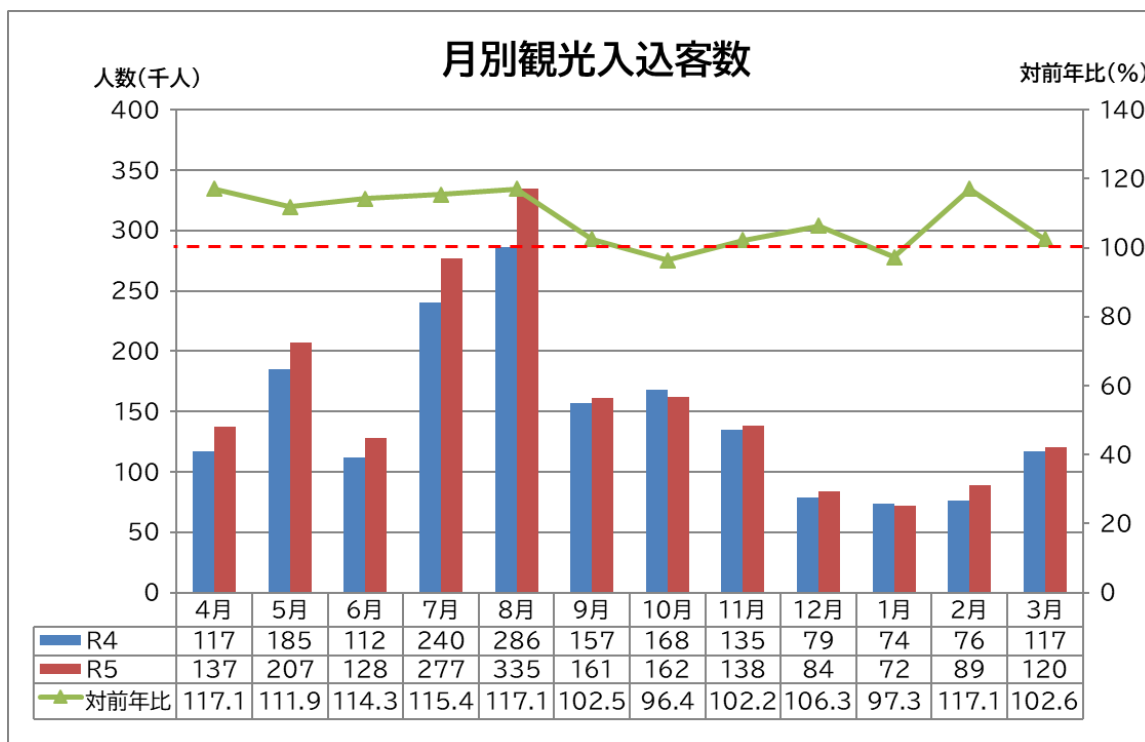
総数 1,909,550 人（対前年比 109.3%、162,890 人増）

※ 令和4年度総数 1,746,660 人 ※ 令和元年度総数 2,177,480 人

2 令和5年度の月別・目的別観光入込客数

(1) 月別観光入込客数

- 4月は、「糸魚川けんか祭り」の4年ぶりの開催、7月、8月は、「おうみ祭り」や「糸魚川おまんた祭り」等の夏のイベントを、制限なしで開催できたことにより、前年よりも大幅に増加した。
- 令和6年1月に発生した「能登半島地震」の影響により、1月の入込数は減少した。
- 3月は、北陸4県を対象にした宿泊割引「北陸応援割」の実施に伴い、温泉施設や宿泊施設の入込みが増加した。



(2) 目的別観光入込客数

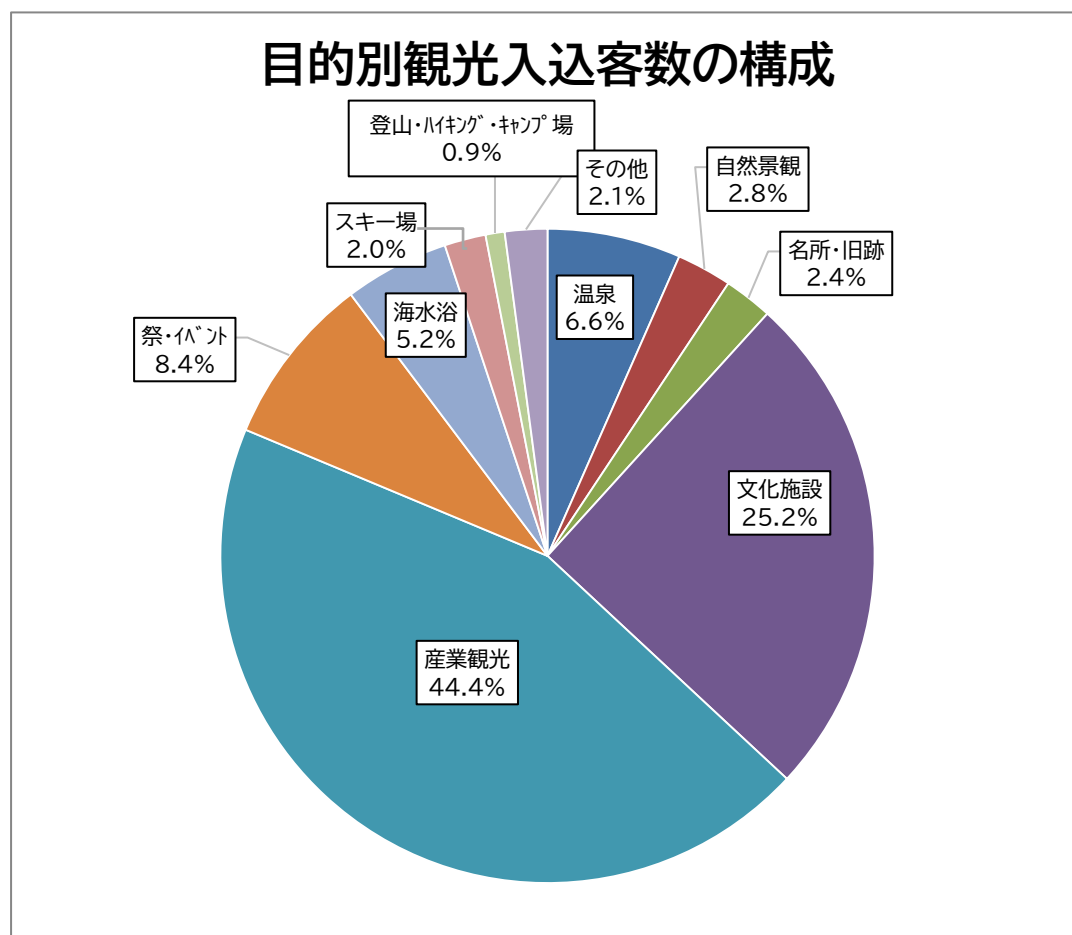
- 「産業観光」が全体の44.4%を占めており、次いで「文化施設」、「温泉」の順となった。
- 「祭・イベント」では、縮小で開催していたイベントを、制限なしで開催できたこともあり、入込みは大きく回復した。

(千人)

区 分	R5	R4	増減数	対前年比	構成比	地点数
温泉	126	116	10	108.6%	6.6%	13 地点
自然景観	52	51	1	102.0%	2.8%	8 地点
名所・旧跡	46	43	3	107.0%	2.4%	7 地点
文化施設	481	437	44	110.1%	25.2%	10 地点
産業観光 ※1	847	805	42	105.2%	44.4%	7 地点
祭・イベント	161	90	71	178.9%	8.4%	41 地点
海水浴	99	97	2	102.1%	5.2%	6 地点
スキー場	39	39	2	100.0%	2.0%	2 地点
登山・ハイキング・キャンプ場	18	20	△2	90.0%	0.9%	13 地点
その他	40	48	△8	83.3%	2.1%	9 地点
合 計	1,909	1,746	146	108.3%	100.0%	116 地点

※1 「産業観光」とは、道の駅、観光物産センター、酒蔵等の観光施設を指す。

※2 四捨五入により、他の表の数字や合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。

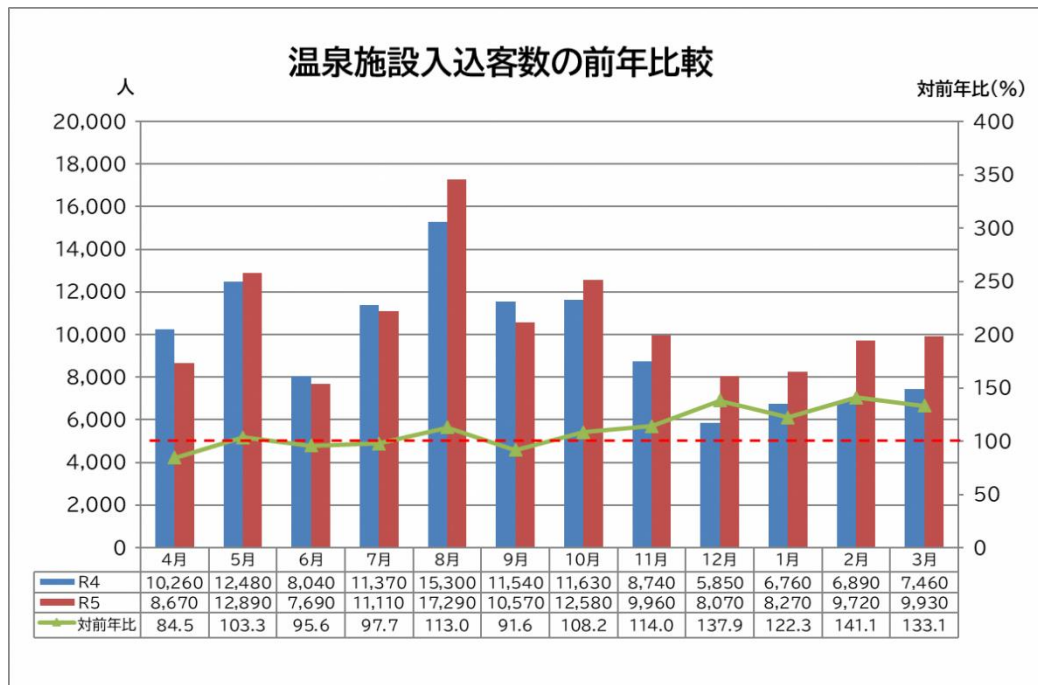


3 令和5年度の目的別観光入込客数の前年度比較

(1) 温泉

◇ 令和5年度 126,750 人（令和4年度 116,320 人） 前年比 109.0%、10,430 人増

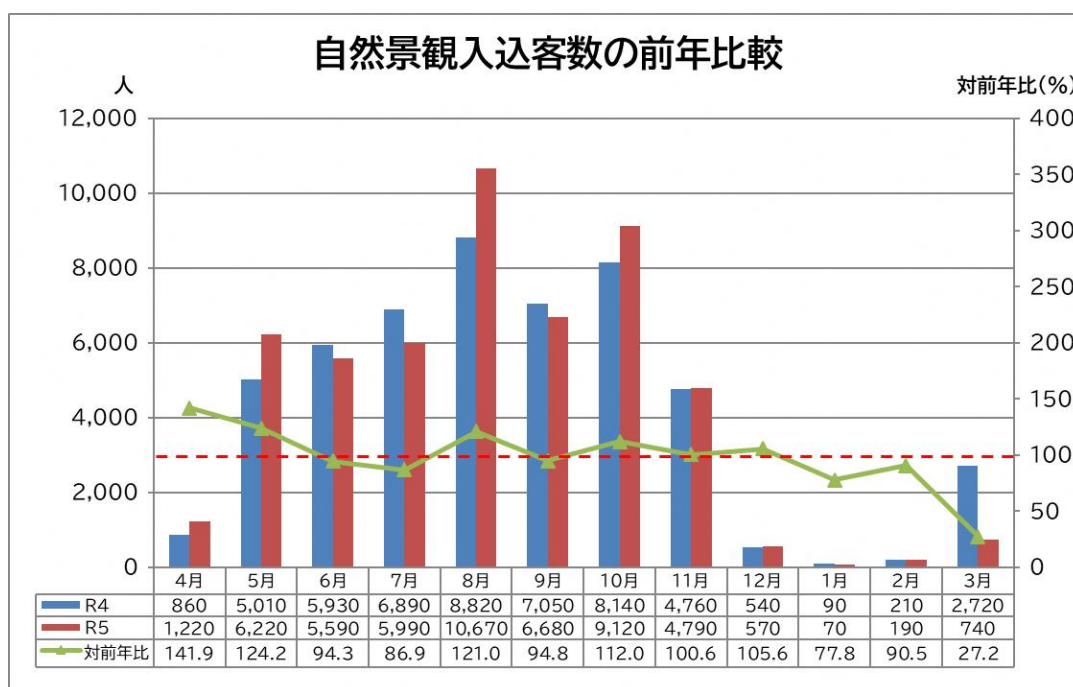
○ 3月は、北陸4県を対象にした宿泊割引「北陸応援割」の実施に伴い、温泉施設や宿泊施設の入込みが増加した。



(2) 自然景観

◇ 令和5年度 51,850 人（令和4年度 51,020 人） 前年比 101.6%、830 人増

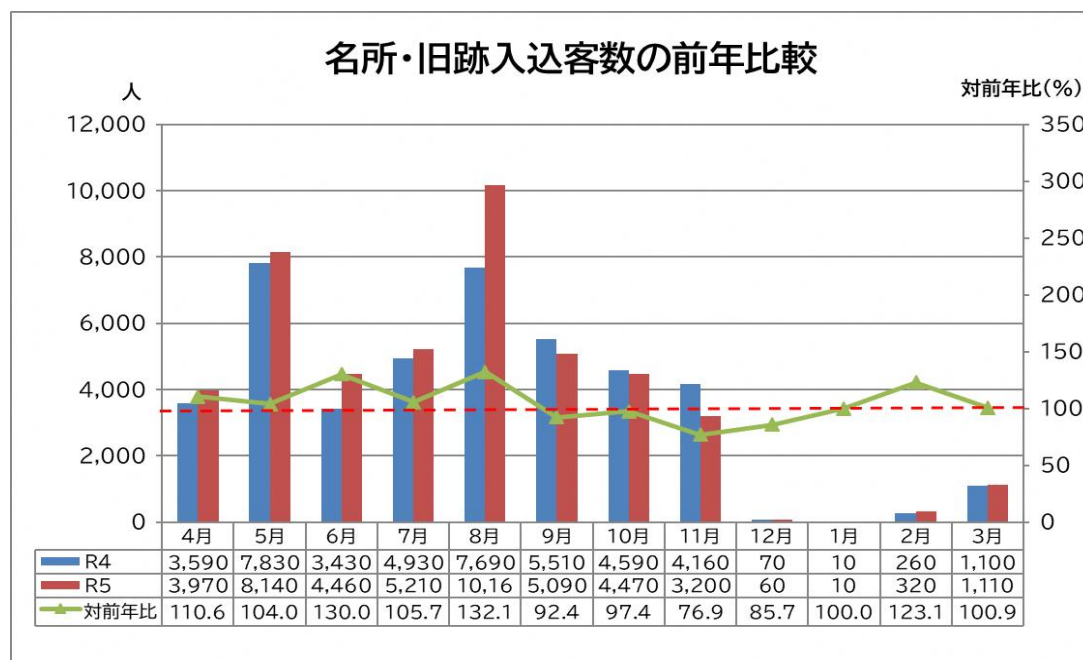
○ 「高浪の池」や「小滝川ヒスイ峡」等の対象施設が、全体的に増加傾向にあり、通年で入込みは回復した。



(3) 名所・旧跡

◇ 令和5年度 46,200 人（令和4年度 43,170 人） 前年比 107.0%、3,030 人増

○ テレビ番組「なじラテ」の放送の影響もあり、「フォッサマグナパーク」の入込みが大きく増加した。

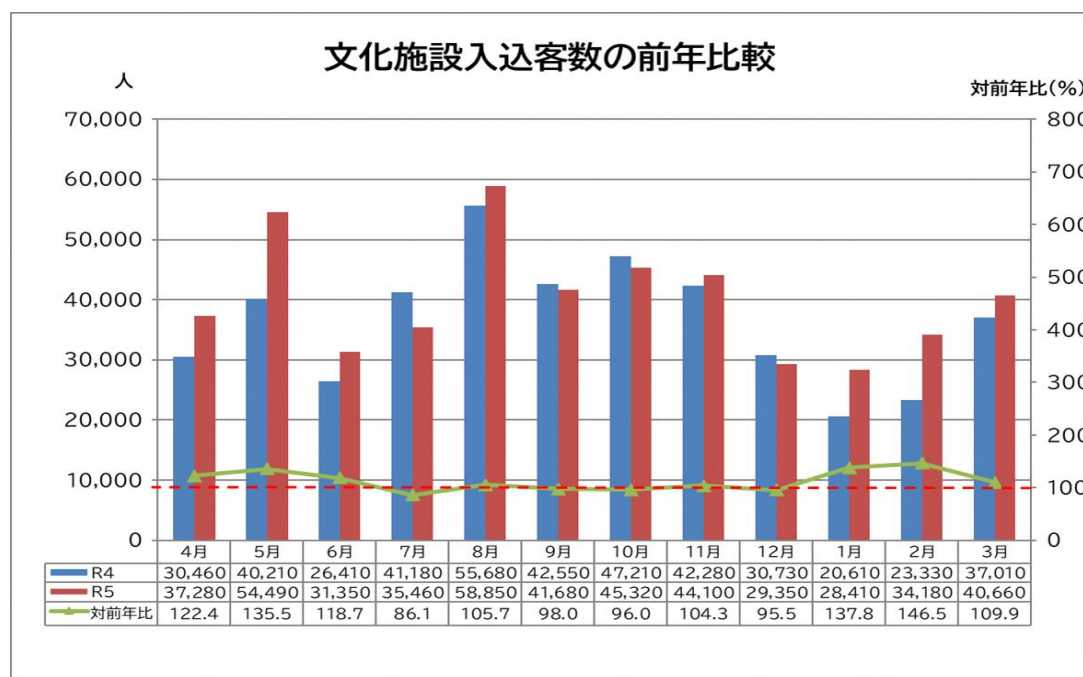


(4) 文化施設

◇ 令和5年度 481,130 人（令和4年度 437,660 人） 前年比 109.9%、43,470 人増

○ 5月は、「ジオパル」のキハ52の出庫イベントが複数回行われており、GWや土日を中心に入込みが多く、通年でも増加した。

○ 2月は、「高城れにとお邪魔します in 糸魚川」が開催されたこともあり、「ジオパル」「フォッサマグナミュージアム」へ県外からの入込みが多く、通年でも増加した。

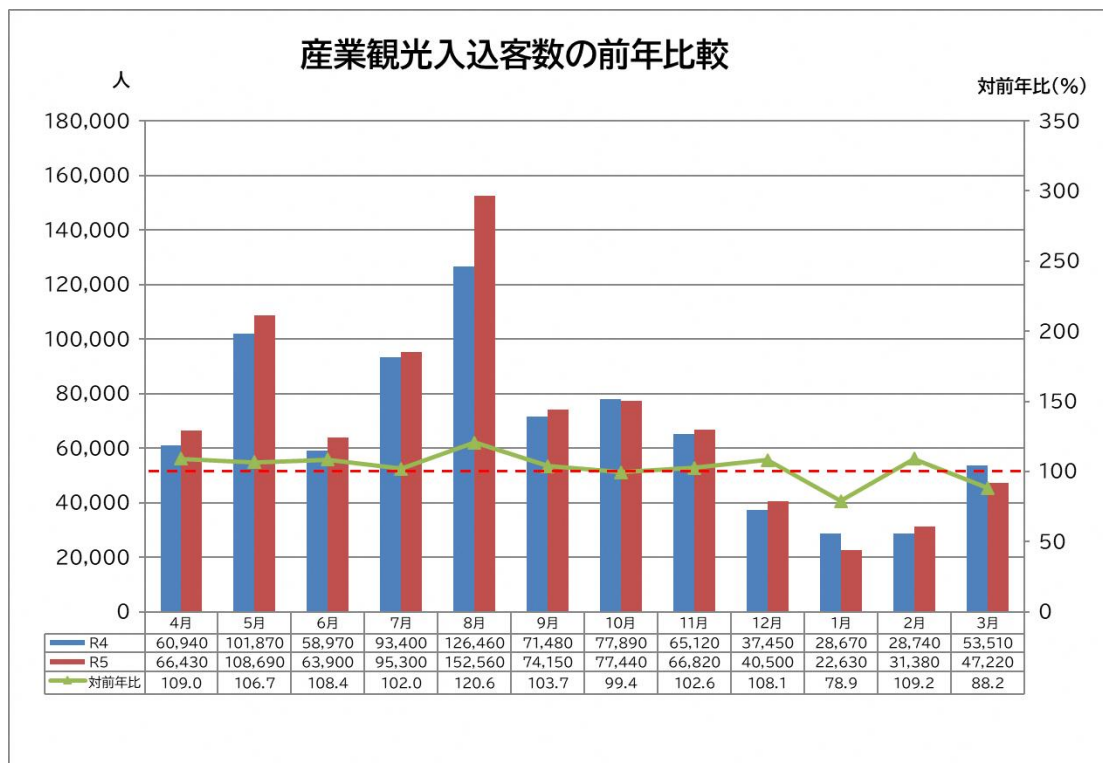


(5) 産業観光

◇ 令和5年度 847,020人（令和4年度 804,500人） 前年比 105.3%、42,520人増

○ 道の駅を中心に5月、8月の入込数が増加したことにより、通年でも増加した。

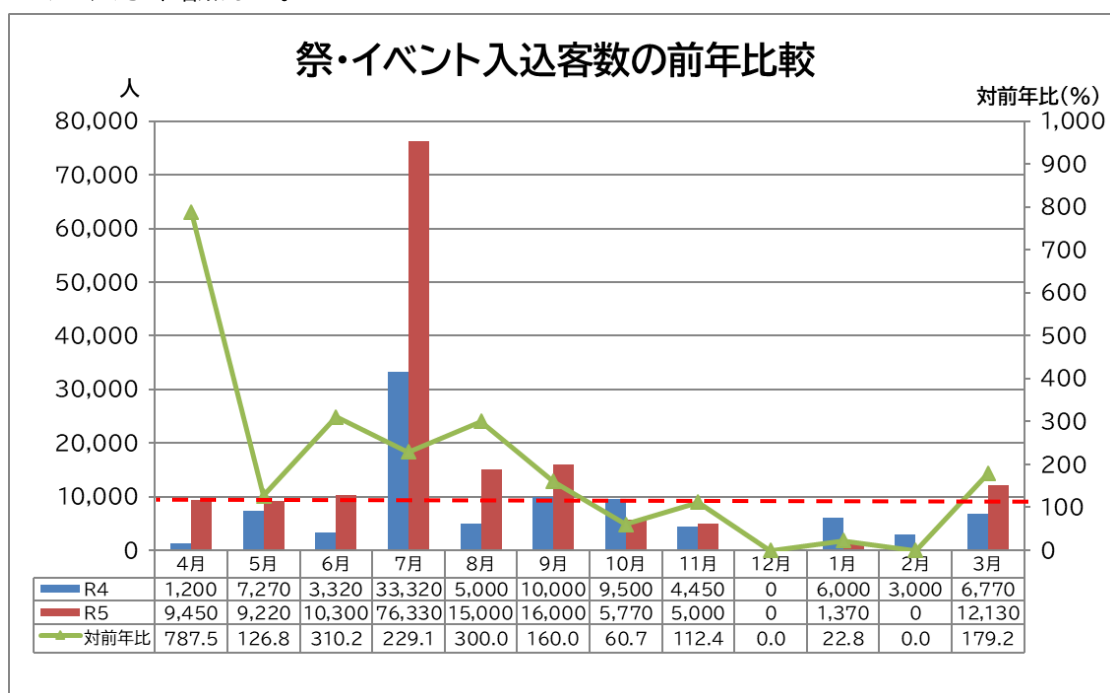
○ 1月は能登半島地震の影響により、道の駅の入込みが減少した。



(6) 祭・イベント

◇ 令和5年度 160,570人（令和4年度 89,830人） 前年比 178.7%、70,740人増

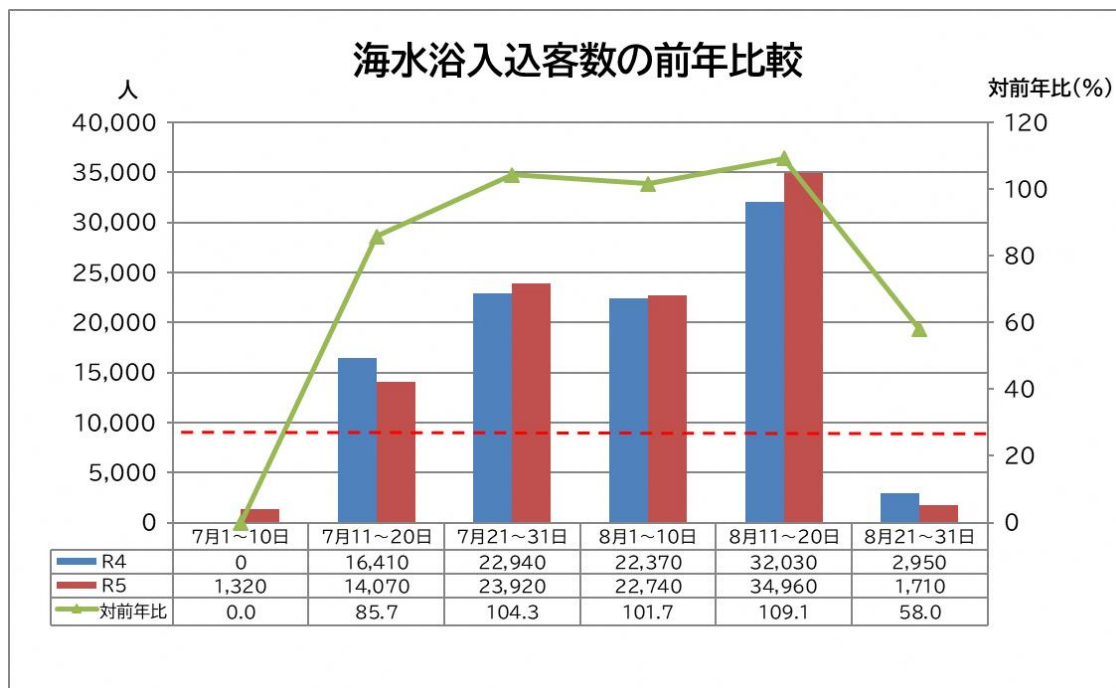
○ 「糸魚川けんか祭り」が縮小開催ながら、4年ぶりに行われたこともあり、4月の入込みが大きく増加した。



(7) 海水浴

◇ 令和5年度 98,820人（令和4年度 96,700人） 前年比 102.1%、2,120人増

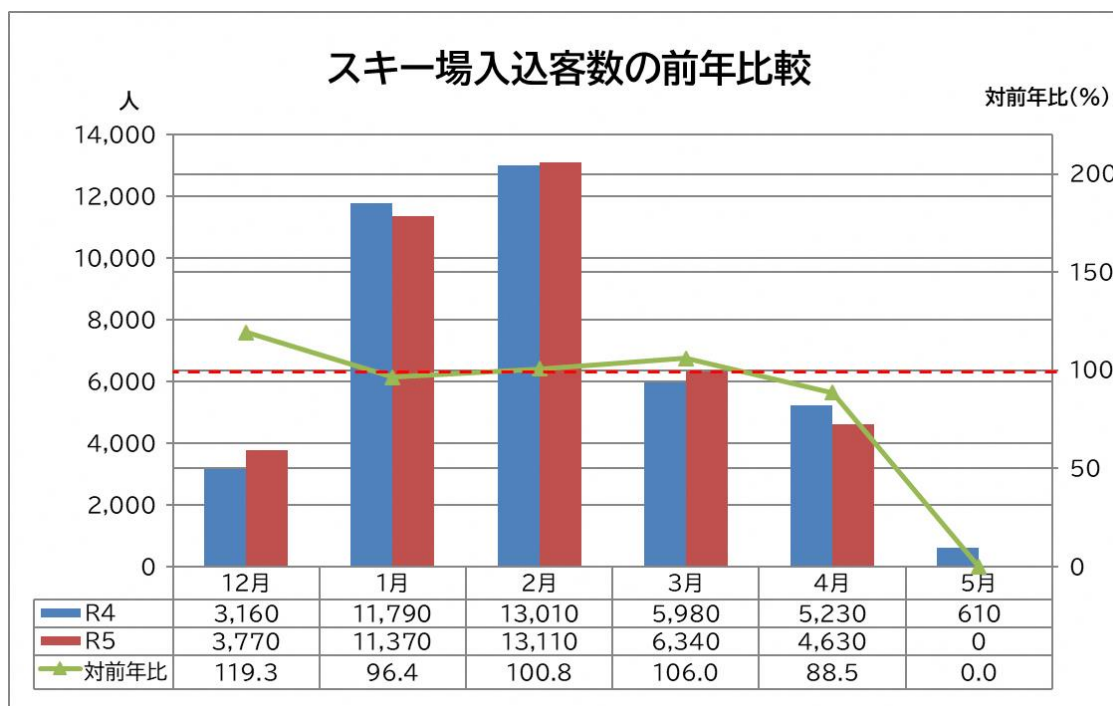
- 近年の猛暑や台風7号の影響があったが、前年度からは、わずかな入込増加となった。
- 令和5年度からは、いといがわサマーロックフェス実行委員会（事務局：糸魚川市観光協会）主催の「石フェス」が開催され、石拾いの観光客が増加傾向にある。



(8) スキー場

◇ 令和5年度 39,220人（令和4年度 39,780人） 前年比 98.5%、560人減

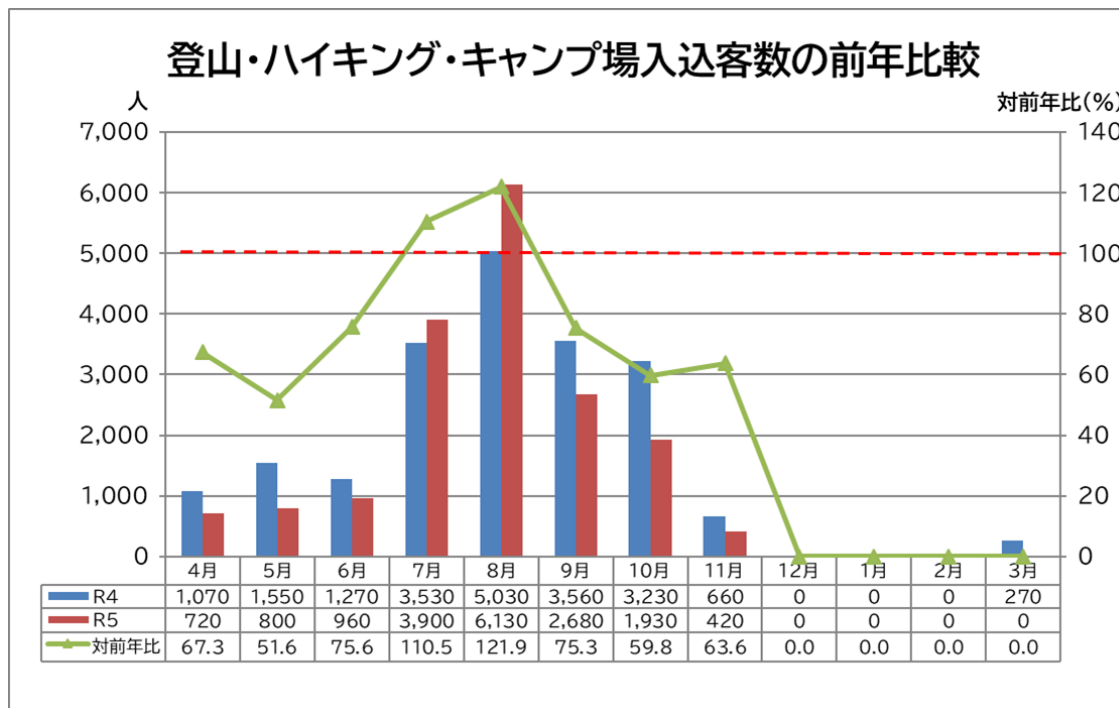
- 「シャルマン火打スキー場」の令和5年度シーズンは、少雪により、4月までの営業であったことから、入込みは減少となった。（※例年は5月の連休まで営業する。）



(9) 登山・ハイキング・キャンプ場

◇ 令和5年度 17,540人（令和4年度 20,170人） 前年比 87.0%、2,630人減

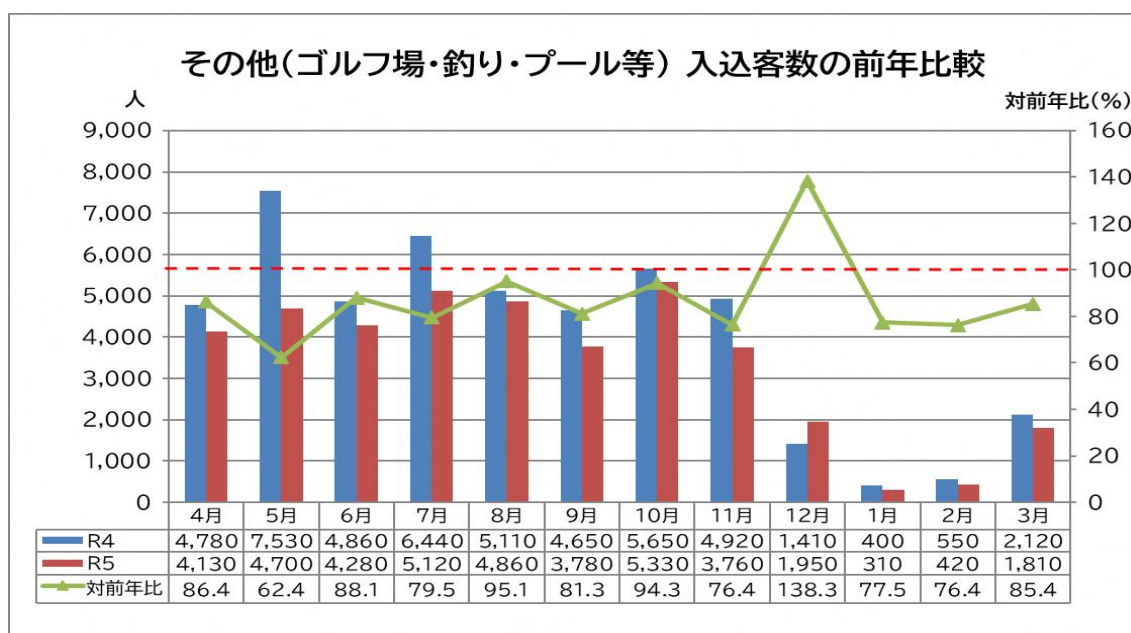
- 新型コロナウイルス感染症の余波から、屋外アクティビティの需要は高まっていたが、感染症拡大が落ち着きを見せ始めるにつれて、かつてほどの需要はなくなってきたことにより、入込みは減少したと思われる。



(10) その他(ゴルフ場・釣り・プール等)

◇ 令和5年度 40,450人（令和4年度 48,420人） 前年比 83.5%、7,970人減

- 「登山・ハイキング・キャンプ場」と同様に、屋外アクティビティの需要が感染症拡大時よりも低下したことにより、入込みは減少したと思われる。



Ⅱ 令和5年度 宿泊客の入込状況

1 令和5年度宿泊客の入込状況(概況)

- 県外宿泊者が、おおむね6割を占めている。
- 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が、感染症法上の位置付けが5類感染症となり、インバウンドの需要が回復したことにより、新型コロナウイルス感染症拡大前(令和元年度)の約95%まで回復した。

総数(推計) 159,730 人 (対前年比 120.6%、27,370 人増)

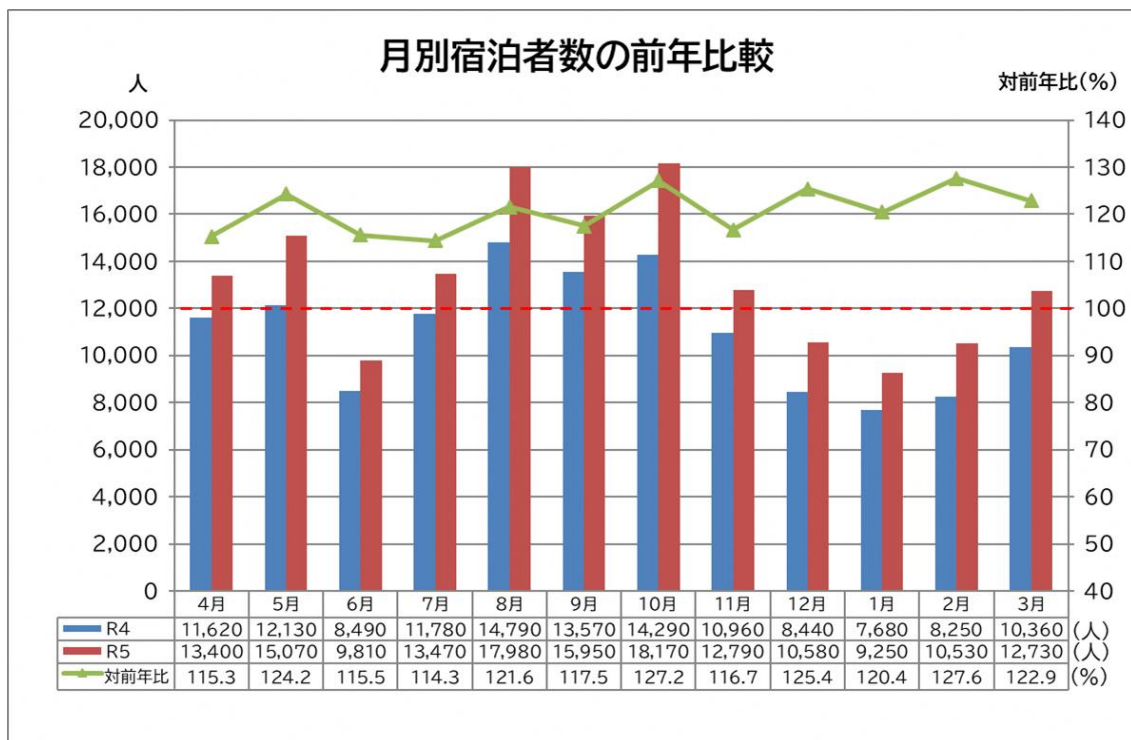
※ 令和4年度総数 132,360 人

※ 令和元年度総数 168,350 人

2 令和5年度の月別・方面別宿泊客数

(1) 月別宿泊客数

- 例年、夏休みの8月と工場の定期修繕がある10月に宿泊者が多い。
- 令和6年3月からは、北陸4県を対象にした宿泊割引「北陸応援割」の実施に伴い、宿泊施設の入込みが大きく増加した。

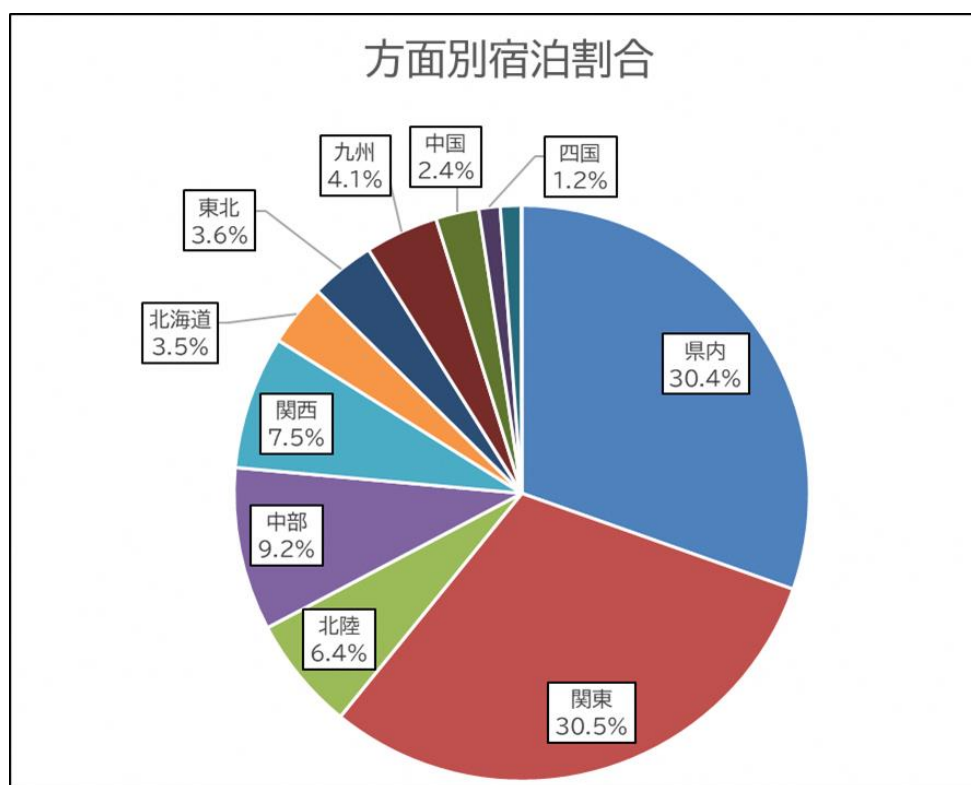


(2) 方面別宿泊施設入込客数

- 市内宿泊施設 35 施設の方面別入込客数は、県内が 30.4%、県外が 69.6%となっている。
- 県外では、関東地方が全体の約 30%を占めており、前年度と比較すると、関東地方や関西地方の宿泊者数が増加し、中部や北陸等の近隣地方の宿泊客数が減少した。

(人)

地 域	R5	構成比	R4 構成比
県内	48,485	30.4%	33.7%
関東	48,572	30.5%	28.9%
中部	14,605	9.2%	10.9%
関西	11,952	7.5%	7.2%
北陸	10,210	6.4%	6.6%
北海道	5,581	3.5%	2.7%
東北	5,793	3.6%	3.3%
九州	6,563	4.1%	3.2%
中国	3,876	2.4%	2.2%
四国	1,907	1.2%	1.2%
沖縄	44	0.0%	0.0%
海外	1,874	1.2%	0.0%
合 計	159,462	100.0%	100.0%

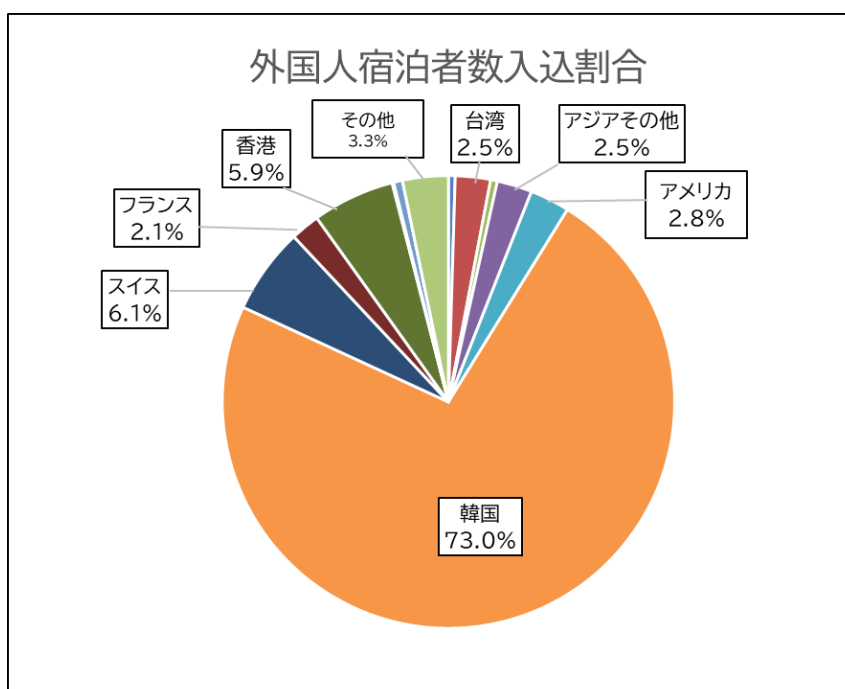


3 外国人宿泊客数

- 令和5年度の外国人宿泊者数は、令和4年10月に外国人の出入国管理措置が大幅緩和して以降、回復傾向が見られていたが、令和5年度の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、大幅に回復した。

(人)

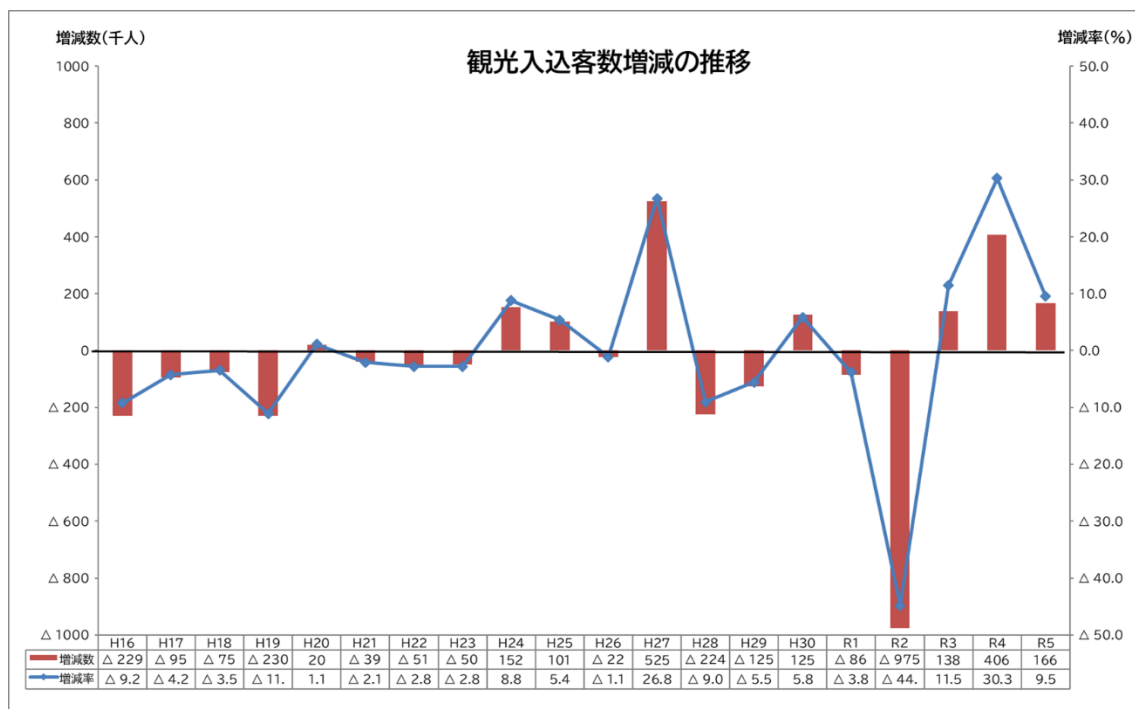
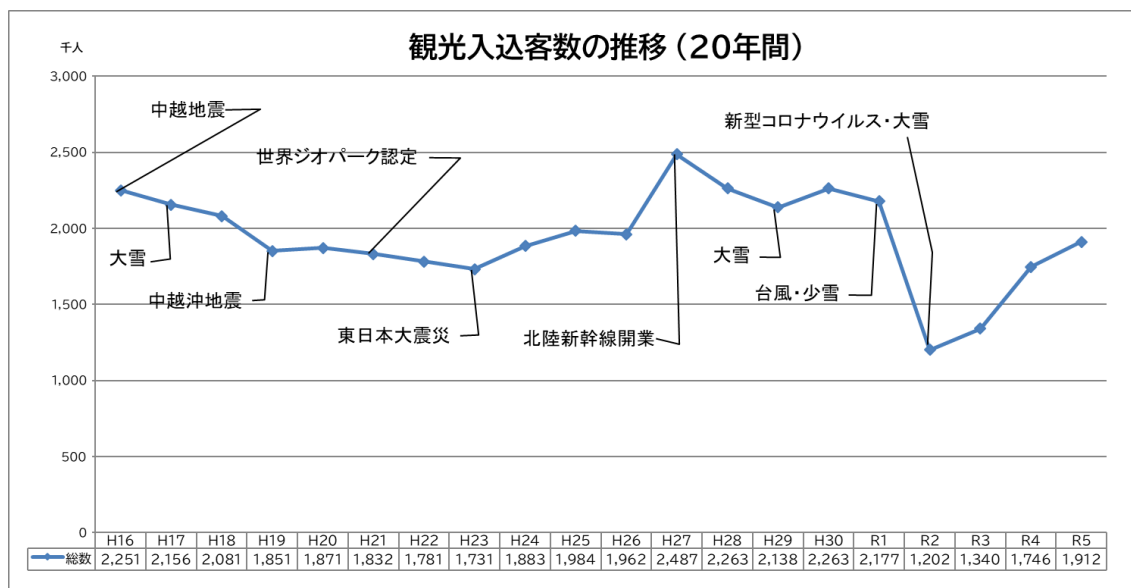
国・地域	R5	R4	対前年比	構成比
アジアその他	47	0	皆増	2.5%
中国(香港を除く)	9	6	150%	0.5%
台湾	47	1	4,700%	2.5%
オーストラリア	9	8	112.5%	0.5%
韓国	1,366	3	45,533.3%	72.9%
スイス	115	12	958.3%	6.1%
アメリカ	53	20	265%	2.8%
フランス	39	0	皆増	2.1%
香港	110	5	2,200%	5.9%
ヨーロッパその他	2	6	33.3%	0.1%
ドイツ	0	0	－	0.0%
北米・中南米その他	0	0	－	0.0%
イギリス	12	2	600%	0.6%
イタリア	0	0	－	0.0%
カナダ	4	0	皆増	0.2%
ベルギー	0	0	－	0.0%
ブラジル	0	0	－	0.0%
その他(国籍不明)	61	2	3,050%	3.3%
合 計	1,874	65	2,883.1%	100.0%



Ⅲ 過去の入込客統計調査との比較

1 観光入込客数の推移

- 平成 13 年度以降減少していたが、平成 24 年度から回復基調にあった。
- 平成 27 年度は、北陸新幹線の開業効果により、ジオパル、フォッサマグナミュージアム等の文化施設の入込数が増加したため大幅に伸びている。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和 2 年度の入込数は大幅に減少した。
- 令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が小さくなったものの、コロナ前の入込数まで回復するに至っていない。



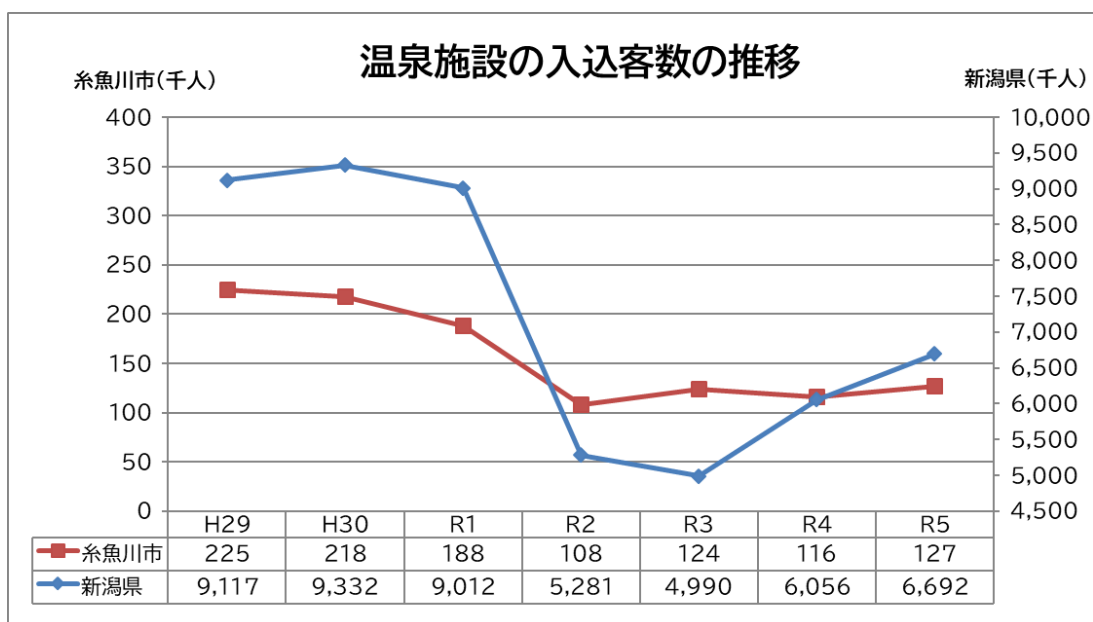
2 目的別観光入込客数の推移と新潟県入込客数との比較

目的別の観光入込客数を集計した。なお、参考のために新潟県の目的別入込客数（公表値）を図表に加えた。

新潟県の入込客数の推移と同様の傾向を示すものは、自然災害の発生や感染症の流行などの影響が考えられる。

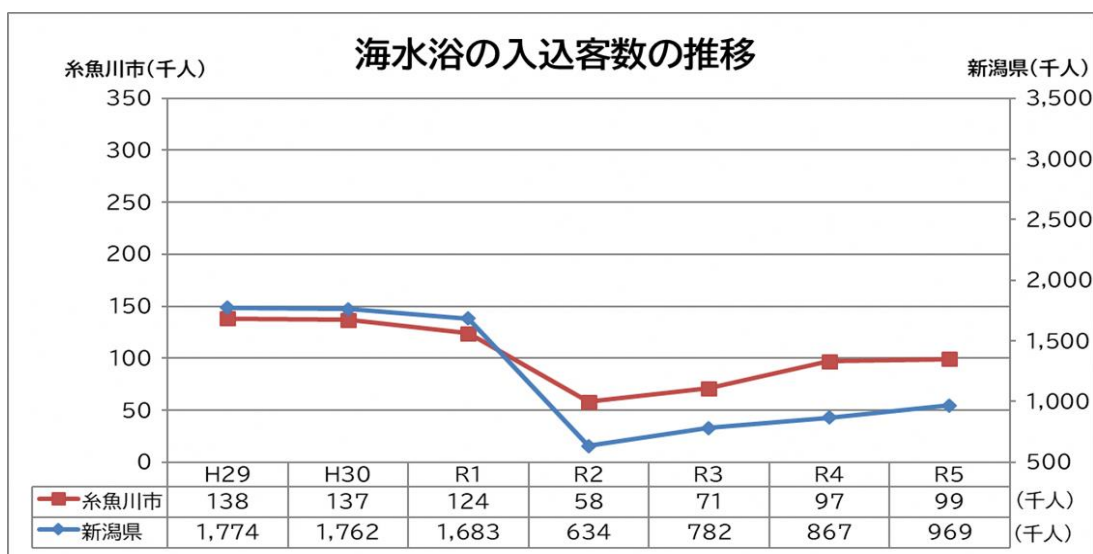
(1) 温泉

- 新潟県内の温泉施設の入込数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年度以降は大幅な減少となっている。
- 令和5年度は、2年ぶりに前年度の入込数を上回ったが、依然としてコロナ前の入込数までの回復に至っていない。



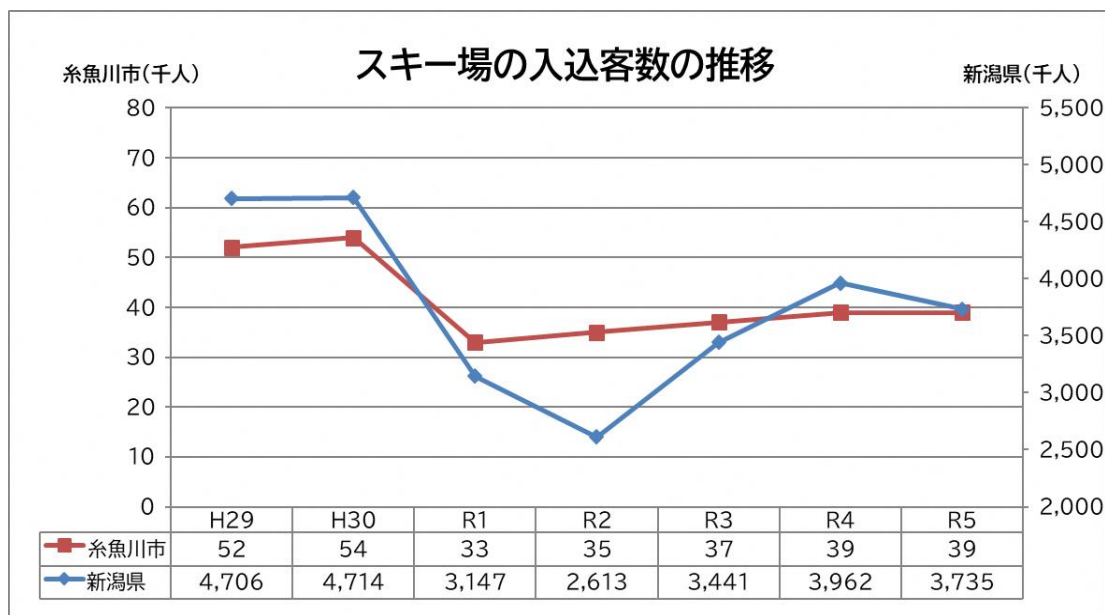
(2) 海水浴

- 糸魚川市の海水浴の入込数は、新潟県と同様の傾向を示している。
- 令和5年度は、「石フェス」が開催されたこともあり、石拾いの入込数も増加した。



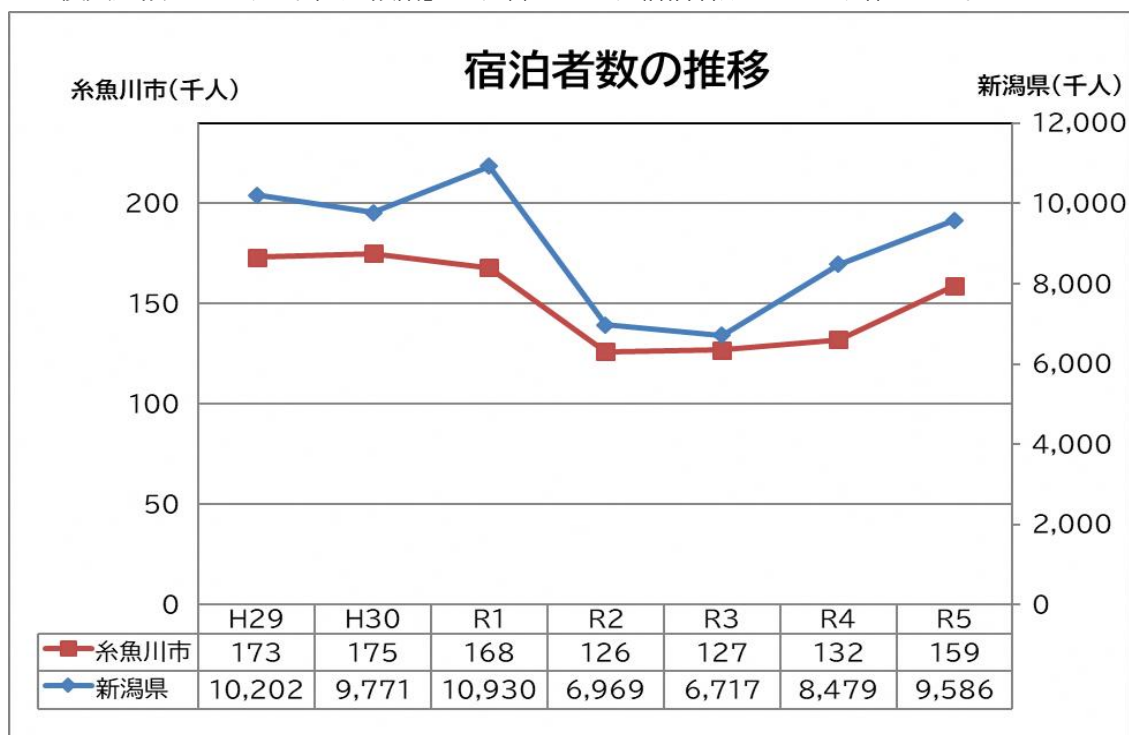
(3) スキー場

- 糸魚川市のスキー場の入込数は、新潟県とほぼ同様の傾向を示している。



3 宿泊客数の推移と新潟県宿泊客数との比較

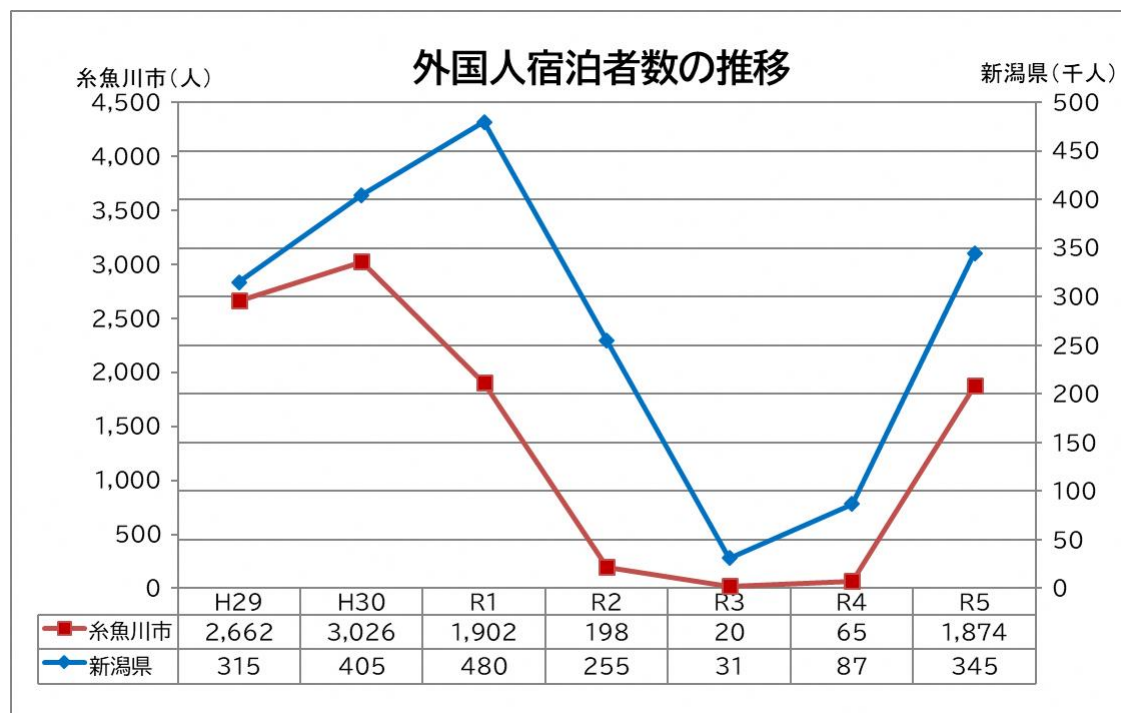
- 宿泊者数の推移においては、新潟県とほぼ同様の傾向を示している。
- 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことと、能登半島地震からの復興支援である、「北陸応援割」の影響により、宿泊者数は大きく増加した。



4 外国人宿泊客数の推移と新潟県外国人宿泊客数との比較

観光庁が実施・公表している、宿泊旅行統計調査の数値をもとに図表に加えた。

- 糸魚川市の外国人宿泊客数は、新潟県と同様の傾向を示している。
- 年々増加で推移していたが、令和元年度からは日韓情勢、また、令和2年度からは新型コロナウイルスの影響により、大幅に減少した。
- 令和5年度においては、新潟県と同様、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、外国人宿泊者数は大幅に回復した。



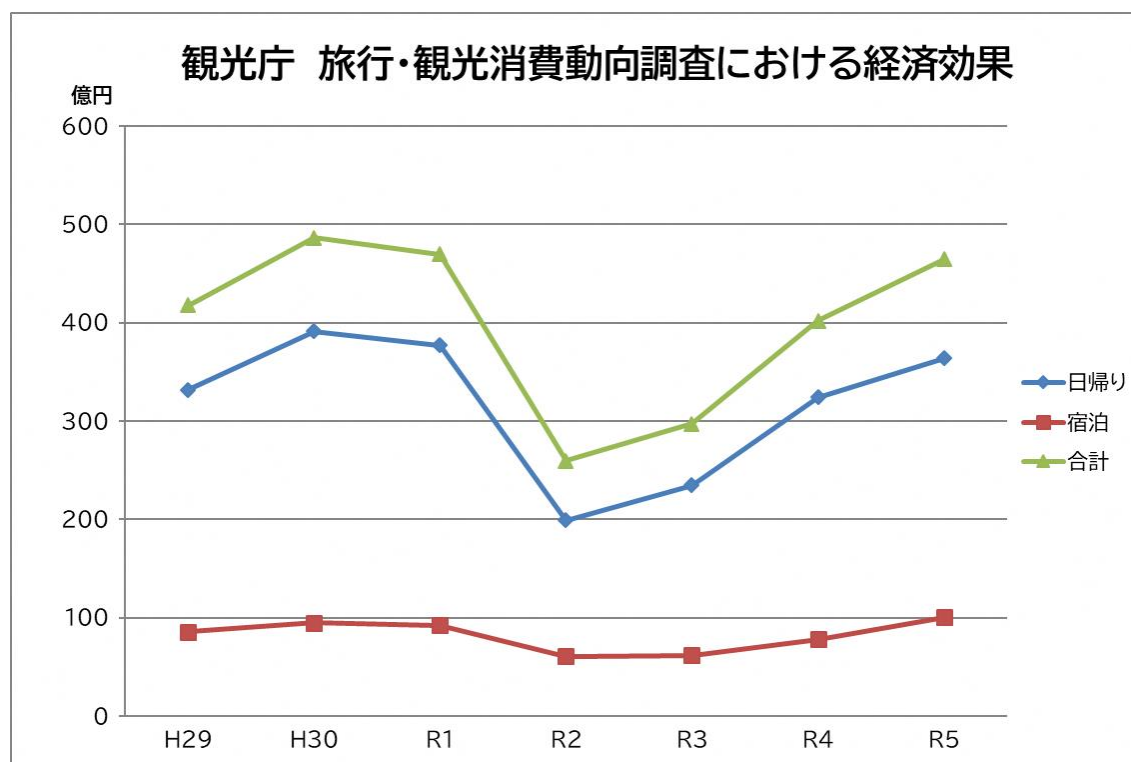
IV 経済効果

1 観光庁「旅行・観光消費動向調査」における経済効果

観光庁が発表している、旅行・観光消費動向調査に基づき経済効果を試算した。

- 令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により消費が大きく落ち込んだが、令和4年度以降においては経済対策などにより、令和元年度以来の400億円台に持ち直した。

年度	日帰り			宿泊			合計 (億円)
	単価 (円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	単価 (円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	
H29	15,526	2,138	332	49,732	173	86	418
H30	17,285	2,263	391	54,300	175	95	486
R1	17,334	2,177	377	55,054	168	92	469
R2	16,589	1,202	199	48,365	126	61	260
R3	17,564	1,340	235	48,876	127	62	297
R4	18,540	1,740	324	59,174	132	78	402
R5	19,027	1,909	363	63,253	159	101	464



2 系魚川ジオパーク観光動態調査における経済効果

市内観光施設4地点において聞き取り調査を実施し、1人当たりの平均予算額から経済効果を試算した。

年度	区分	単価 (円)	日帰り		宿 泊		合計 (億円)
			入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	入込客数 (千人)	経済効果 (億円)	
H29	飲食	1,111	2,138	24	173	2	198
	お土産代	6,611		141		11	
	宿泊費	11,072	-	-		19	
H30	飲食	1,598	2,263	36	175	3	167
	お土産代	4,472		101		8	
	宿泊費	10,750	-	-		19	
R1	飲食	3,291	2,177	72	168	6	277
	お土産代	5,476		119		9	
	宿泊費	12,793	-	-		21	
R2	飲食	3,210	1,202	39	126	4	121
	お土産代	4,651		56		6	
	宿泊費	12,790	-	-		16	
R3	飲食	3,349	1,340	45	127	4	144
	お土産代	5,179		69		7	
	宿泊費	14,890	-	-		19	
R4	飲食	4,598	1,746	80	132	6	230
	お土産代	6,647		116		9	
	宿泊費	14,596	-	-		19	
R5	飲食	3,732	1,909	71	159	6	237
	お土産代	6,547		125		10	
	宿泊費	15,051	-	-		24	

※参考

MICE測定モデルにおける経済効果

観光庁が平成23年3月に公表したMICE (Meeting, Incentive, Convention, Event / Exhibition) 測定モデルを用いて経済効果試算した。

(億円)

指標	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
1. 直接効果	186	195	186	89	95	115	131
2. 間接1次波及効果	147	153	147	62	66	80	90
3. 間接2次波及効果	85	88	85	39	42	50	57
経済波及効果(1+2+3)	418	436	418	190	203	245	278

V 令和5年度に講じた施策

令和5年度において、交流人口の拡大を目的に実施した主な施策と実績は、以下のとおりである。

1 誘客宣伝活動の促進

(1) 観光素材の磨き上げ

- 海と山が近接している地形を生かし、それぞれの魅力を磨き上げ誘客を図る事業を実施

①海の魅力アップ推進事業

- ・「糸魚川の海へ行こう！」デジタルチラシ作成

実施内容…海の情報を掲載した、デジタル版チラシを作成し SNS 等で発信

Facebook 及び Instagram 広告出稿をし、長野県在住者に海の情報提供を実施

②山の魅力アップ推進事業

- ・白馬岳登山バス

運行区間…糸魚川駅～平岩駅前～蓮華温泉

実施期間…(ア) 令和5年7月15日～令和5年8月16日の毎日

(イ) 令和5年8月19日～令和5年10月9日の土・日・祝日

利用実績…(ア) 1,666 人 (イ) 486 人

- ・雨飾山・戸倉山登山タクシー

運行区間…糸魚川駅～戸倉山～雨飾山荘

実施期間…令和5年7月29日～令和5年10月15日の土・日・祝日（予約制）

利用実績…192 人

- ・糸魚川登山情報サイト「糸魚川登山ガイド」での情報発信

③スキー場利用促進事業

- ・バス運行事業（無料バス）

運行期間…令和5年4月1日～令和5年5月5日

令和5年12月22日～令和6年3月31日までの土日祝日及び学校休業日

対 象 者…小・中・高校生

利用者数…1,098 人

- ・レンタル利用料補助金

補助期間…令和5年4月1日～令和5年5月5日、

令和5年12月22日～令和6年3月31日まで

対 象 者…小学生以下

利用件数…1,565人

- ・ スノースクール補助金
補助期間…令和5年4月1日～令和5年5月5日、
令和5年12月22日～令和6年3月31日まで
対 象 者…中学生以下
利用件数…376件

(2) 観光情報の発信

- ホームページや SNS を活用し、糸魚川の魅力を発信
- 糸魚川市観光協会と連携を強化し、観光情報のワンストップ窓口化を推進

①ホームページ（糸魚川観光ガイド）による情報発信

- ・ 新着情報、イベントカレンダー等の更新
- ・ 観光施設、観光素材、糸魚川体験ガイド（旅する糸魚川）の情報発信

②SNS（糸魚川市観光協会）での情報発信

- ・ フェイスブック…フォロワー数 2,591 人
- ・ インスタグラム…フォロワー数 2,358 人
- ・ X …フォロワー数 1,117 人
- ・ LINE … 1,230 人

③観光案内所の開設（5か所）

- ・ 案内所問合せ件数……35,902 件（対前年比 141% 25,383 件）

④観光パンフレット請求件数……74 件

(3) 効果的な宣伝活動の強化

- 様々なメディアを利用した広告出稿等を実施

項 目	内 容	回 数
広告出稿	テレビ	7 回
	新聞広告	1 回
	雑誌広告	5 回
	SNS・インターネット	随時

(4) イベント等の実施と支援

- 糸魚川の認知度を向上させるため、市内イベント等に対する支援を実施

○ 実行委員会など実施するイベントへの助成

- ・ 補助件数…17 団体

(5) 観光関連産業の活性化と地域振興

- 民間団体と連携し、食を通じた情報発信を実施

- ① うまいもん会への助成

- ・ 糸魚川市の食等を通じて糸魚川市の情報発信を図った。
- ・ 市内各種イベントへの出店

- ② 五醸の会への助成

- ・ 市内5蔵の地酒を通じて、糸魚川市の情報発信を図った。
- ・ 「いといがわヒスイ SAKE まつり 2023」の開催：令和5年10月21日（土）
- ・ 「いといがわマルシェ」等への出店

(6) 神話の物語を通じた観光連携

- 島根県出雲市及び長野県諏訪市と、奴奈川姫の伝説をご縁とした、3市連携「神話の縁結び かみがたりネットワーク」令和5年度の総会を出雲市にて開催した。

2 受入態勢の充実

(1) 観光地域づくりに向けた観光協会との連携強化

- 糸魚川版DMOの取組を進め、受入態勢を整えるため、民間企業からの社員派遣を行った。

観光協会への民間企業社員派遣

- ・ 目的…糸魚川市観光協会で作成する旅行商品の販売促進を行うためのマーケティング分析業務の充実と、観光協会職員のスキルアップ
- ・ 人数…1人（合同会社DMM.comから派遣）

(2) 体験型観光の推進

- 地域資源を活かした旅行商品の開発を行い、旅行エージェントなどとの連携を進め誘客を図った。（募集型、受注型、手配、外部旅行会社のツアーの合計）

- ・ 122本、3,450人

(3) 広域観光連携の推進

- 広域連携のメリットを活かし、鉄道やサイクルツーリズムの魅力を伝えることにより、北アルプス日本海エリアへの誘客を図った。
- 糸魚川市、上越市、妙高市3市が持つアウトドアツーリズムの魅力を発信して誘客するため、3市連携のイベントを実施した。

①北アルプス日本海広域観光連携会議

(ア)連携市町村

長野県大町市・白馬村・小谷村、富山県朝日町、新潟県上越市・糸魚川市
計6市町村

(i) 観光誘客促進事業

台湾からの誘客促進を図るため、台湾旅行社を当エリアに招へいし、ファムトリップを実施。また、台湾台北駅構内での「日本の観光・物産博2023」に出展、台北周辺の旅行会社へセールスコールを実施。

3月16日北陸新幹線敦賀延伸を記念したイベント（敦賀まつり、つるが街波祭）に沿線エリアとして出展した。

(ii) サイクルツーリズム推進事業

サイクリストの利便性向上のため、輪行バッグの貸し出し事業を実施、また、サイクルトレインの運行を鉄道事業者と連携して実施した。

②上越地域 SEA TO SUMMIT 実行委員会

- ・事業…海、里、山をカヤック、バイク、ハイクの3種でたどりながら自然の循環を体感し、自然について考える環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」を上越・妙高と共同で開催。上越地域 SEA TO SUMMIT 実行委員会を3市で運営し、全国から参加者を募集した。マリンアクティビティの機運醸成と当市の大自然の魅力をPRできた。
総参加者 73組 116人（うち県外参加者 66人）

(4) 観光施設の整備運営

- 観光施設の適切な整備と管理運営を行い、施設の魅力や観光客の誘客を図った。

施設名	入込客数（人）
糸魚川ジオステーションジオパル	305,890
シーサイドバレースキー場	16,970
シャルマン火打スキー場	22,250
翡翠園、玉翠園・谷村美術館	12,970
高浪の池（白馬山麓国民休養地）	11,520

(5) 新幹線に対応した観光交通の確保

- 北陸新幹線など鉄道を利用し糸魚川市に来訪する観光客に向けた誘客を行った。

① 定期観光バス

- ・ 春物語

5月5日、5月6日 15人

- ・ 石と出会う旅

7月16日、7月17日 8月11日

8月12日、8月20日 94人

- ・ 定期観光バス 秋

9月23日、10月1日、10月8日、

10月29日、11月3日 57人



② 募集旅行におけるバス借上料の助成

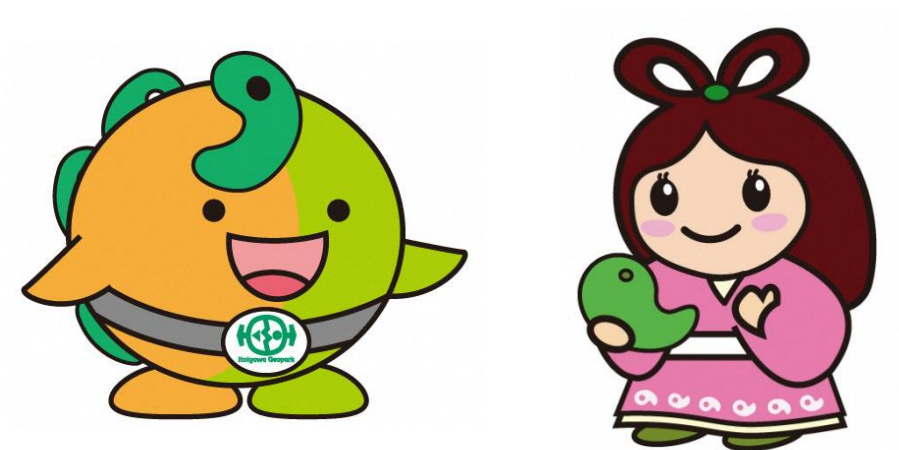
- ・ 利用実績…旅行商品数 67本、2,009人

(6) インバウンド観光の推進

① 外国人向けホームページ「DISCOVER ITOIGAWA」英語版・中国語版情報更新

② 糸魚川シーフードバスの運行

- ・ 利用人数 14人



ジオまる

ぬーな

糸魚川ユネスコ世界ジオパーク マスコットキャラクター

糸魚川市の観光の状況について（令和５年度版）
（令和６年９月発行）

編集・発行 糸魚川市産業部商工観光課
〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮１丁目２番５号
TEL 025-552-1511 FAX 025-552-7372